

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月10日作成

活性化計画名	第二野国名地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県	470007	1	平成23年度～	平成23年度～
名護市	472093	2	平成27年度	平成27年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: 第二野国名地区(沖縄県名護市)				
区域面積: 76.07 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業 用排水施設等の機能の確保	22.0ha	22.0ha	100.0%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用道路 営農飲雑用水施設	水兼農道 L=2550m、支線農道工 L=260m、排水工 一式、営農飲雑用水施設工 一式、防災工 一式		名護市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
名護市	平成23年度	平成28年度	平成29年4月
事業の効果			
本地区は砂利舗装で急勾配であるため、降雨時には路盤材が流出し、また、所々陥没していることにより果樹等の農作物輸送に支障をきたしていた。加えて、農作物や機械の洗浄、育苗のための営農用水の確保に苦労していた。しかし、農道及び営農飲雑用水施設の整備をすることで農産物輸送に係る環境が改善されるとともに営農用水の確保が容易になり、生産意欲の向上、農業振興の促進、農業経営の安定化が期待できる。			

3 総合評価

農道及び営農飲雑用水施設の整備により、輸送路が改善され、営農用水の確保が容易になり、労力軽減と生産意欲の向上が図られた。今後、同地区の農業振興が促進され、将来的にミカン、マンゴーといった果樹類の高収益作物への転換が図られ、農業所得が向上し、農業経営の安定化につながるものと考えられる。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。
農道舗装、営農飲雑用水の整備により運搬、かん水等の営農労力と作物の荷傷みの軽減が図られ、農家の生産意欲の向上や地区の受益戸数の増加につながっている。今後の農業経営の安定化にも期待が持てる。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月5日作成

活性化計画名	金武並里地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 金武町	470007 473146	1	平成23年度～ 平成27年度	平成23年度～ 平成27年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: 並里地区(沖縄県金武町)				
区域面積: 43.4 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	43.4ha	43.4ha	100%	
(コメント)				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	ファームポンド1基 ポンプ施設1基 管路工11,052m		金武町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
金武町土地改良区	平成23年度	平成28年度	平成29年4月
事業の効果			
本地区は、昭和50年の整備以降、経年劣化による維持管理や未整備区域の不安定な農業用水確保等が課題となっていたが今回のファームポンド、管路施設の整備により安定的な農業用水確保ができるように改善された。今後は農業用水の安定供給による高収益作物への転換など生産性の向上へと取組み、農業経営の安定化、農家所得の向上を図る。			

3 総合評価

本地区のかんがい施設整備により安定的な農業用水の確保が実現された。今後は高収益作物への転換や担い手農家の育成など営農環境の改善に取り組み、本町の農業所得向上が図られることで農業集落地域の活性化が期待される。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 畑地かんがい施設の再整備及びファームポンド等の新設により、農業用水の安定的供給が図られ、水稲、田芋及び小菊等の生産拠点化が町により進められている。土地条件に適した農業の推進による農家の収益性向上と、拠点化による地域の特色創造に期待が持てる。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月8日作成

活性化計画名	久志地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 久志真土地改良区	470007 472093	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度(繰越)
活性化計画の区域				
区 域 : 久志地区 (沖縄県 名護市)				
区域面積: 45.9ha の内2.8ha勾配抑制				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
農作業労働力軽減及び農業生産性の向上	45.9ha	44.1ha	96%	

当該地区に埋設されている既設管について、勾配修正を行うことによる管の嵩上げ、道路位置の調整及びほ場内への配管の見直し等に時間を要した。また、実際の位置確認や撤去作業に予定より時間を要したことから、工期延長が必要になった。平成29年10月末には工事完了予定。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設 勾配抑制	スプリンクラー、伸縮ライザー、台座 901箇所 農地造成、法面工法 一式 2.8ha		久志真土地改良区
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
久志真土地改良区	平成24年度	平成28年度(繰越)	平成29年10月予定

事業の効果

本地区は、基幹作物である、さとうきび、パインを中心に野菜、果樹等の営農が行われているが、面整備事業に比べ、かんがい排水事業が立ち遅れているため、夏場には水不足により農業経営に支障を来していた。同事業導入により農作業の効率化が図られ、農家の負担軽減に繋がっている。

3 総合評価

かんがい施設(1型及び一作固定スプリンクラー)の導入により、農作業の労働を軽減し、営農効率の向上が図られ。また、一部の区画(2.8ha)の勾配抑制工により、畑地の維持補修の軽減が図られ、農家の生産意欲及び農業生産の向上に繋がっている。

4 第三者の意見

達成率は96%であるものの、事業の評価は適切である。
畑地かんがい施設の整備及び農地造成により、かん水労力軽減及び営農効率の向上が図られ、一部農家で世代交代の契機となっている。今後の農業経営の安定化にも期待が持てる。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6-1)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)

久志地区活性化計画 改善計画書

平成29年9月8日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
沖縄県	沖縄県 久志真土地改良区	久志地区	平成24年度～ 28年度	平成24年度～ 28年度(繰越)
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農業用排水施設 勾配抑制	スプリンクラー、伸縮ライザー、台座 901箇所 農地造成、法面工法 一式 2.8ha		久志真土地改良区	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
農作業労働力軽減及び農業生産性の向上	45.9ha	44.1ha	96%	平成28年度時点

2 目標が達成されなかった要因

当該地区に埋設されている既設管について、勾配修正を行うことによる管の嵩上げ、道路位置の調整及びほ場内への配管の見直し等に時間を要した。また、実際の位置確認や撤去作業に予定より時間を要したことから、工期延長が必要になった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	29年度
事業の推進体制	平成29年10月末完了見込み。
具体的取組方策	農業用排水施設及び勾配抑制工については、目標どおり整備を、平成29年10月末での完了を予定して。

4 改善計画に対する第三者の意見

未達成要因となった地権者(耕作者)との調整は済んでおり、工事は完了目前であるとの報告を受けた。速やかな完了が望まれる。

未達成となった要因を分析し、事前調整等を密に行うなど計画期間内に目標達成できるよう、今後の事業に活かしていただきたい。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久(沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月18日作成

活性化計画名	両運天地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 今帰仁村	470007 473065	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度
活性化計画の区域				
区 域 : 両運天地区 (沖縄県今帰仁村)				
区域面積 : 26.7 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	26.7 ha	26.7 ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	農業用排水施設	畑地かんがい施設 26.7 ha	今帰仁村 土地改良区
		創意工夫発揮 0.7 ha	
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
羽地大川土地改良区	平成24年度	平成28年度	平成29年3月
事業の効果			
本地区は、国営羽地大川土地改良事業の関連事業地区として、末端かんがい施設の整備を行うことで、高収益作物への転換や営農労力の軽減が図られた。かんがい施設の整備は、今帰仁村が目指す施設野菜や花卉等を中心とした農業経営の拡大に大きく寄与するものとする。			

3 総合評価

末端かんがい施設の整備により、野菜や花卉等の収益性の高い作物を安定的に生産できる基盤が整った。また、かんがい施設と併せて、農作物被害防止施設(ハウス)を導入したことにより、高収益作物の栽培を一層促進し、農業経営の安定及び所得向上が図られることが期待される。 本事業による整備は、農業振興を中心とした地域活性化へつながるものであると考える。
--

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 畑地かんがい施設の整備を行ったことで農業用水の安定的供給とかん水作業の効率化が図られ、また、創意工夫発揮施設(農作物被害防止施設(ハウス))の活用により、栽培環境が向上している。村の特産品であるスイカの栽培規模拡大、マンゴー等の新規作物の導入等の展開がみられ、農家の収益性向上及び地域の活性化につながることが期待される。 沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)
--

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月14日作成

活性化計画名	明石地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 石垣市	470007 472077	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: 明石地区(沖縄県石垣市)				
区域面積: 67.5 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	55.6 ha	55.6 ha	100%	
該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	畑地かんがい施設 55.6 ha		石垣市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
石垣島土地改良区	平成24年度	平成29年度	平成29年7月
事業の効果			
本地区は昭和56年～61年にかけてかんがい施設が整備されているが、設置後25年以上が経過し、施設の経年劣化等による機能低下や障害が多発し安定的な営農に支障をきたしている状況であった。かんがい施設の再整備を実施することで、施設の機能回復と安定的な農業用水の確保を図るとともに、サトウキビや牧草等の基幹作物の安定生産と担い手農家の支援を推進する。			

3 総合評価

かんがい施設の導入(更新)により農業用水の安定的な供給が実現され、基幹作物を中心とした農作物の増収及び安定生産が図られることで、担い手農家への支援につながっている。近年は地域内に農産物直売所が設置され賑わいをみせていることから、高収益作物(園芸作物)への転換も期待され、事業によりかんがい施設の機能回復と農業用水の安定供給が将来的に地域活性化につながるものであると考え。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。
畑地かんがい施設の再整備により、農業用水の安定的供給が実現されている。本地区の基幹作物のサトウキビ、牧草等の安定生産や高収益作物の導入に期待が持てる。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月10日作成

活性化計画名	イシジウムイ原地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県	470007	1	平成24年度～	平成24年度～
伊是名村	473600	2	平成28年度	平成28年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: イシジウムイ原地区(沖縄県伊是名村)				
区域面積: 53.7 h a				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業 用排水施設等の機能の 確保	7.7ha	7.7ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
区画整理	区画整理 7.7ha 畑地かんがい施設 7.7ha		伊是名村
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
伊是名村	平成24年度	平成29年度	平成29年6月
事業の効果			
本地区は牧場計画の予定取り止めにより、その後の活用を模索している中、付加価値の高い野菜団地化の要望により基盤整備を求められていた。事業導入したことにより区画整理及び農道整備、かんがい施設・防風施設を整備したことで生産性向上と農業経営の安定化が期待できる。			

3 総合評価

区画整理を実施したことで、生産性の高いほ場用地が確保できた。これにより、営農環境が改善され農業機械の作業効率が向上し、農業者の営農意欲増進が図られる。また、野菜等の高収益作物の導入を推進する事により、生産性が向上することで、農業従事者の確保、若者の定住化の促進が期待され、農業所得も向上し、村の活性化につながるものと考えられる。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。
区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、農業用水の安定供給施設を備えた農業に適する生産基盤が構築されている。本地区では16名の農家(うち、新規就農者2名、担い手農業者1名)による野菜団地形成が計画されており、新たな農業所得と地域の活性化に期待が持てる。農業生産の本格化を見据え、離島における生産物の輸送費補助等ソフト事業の積極的活用が望まれる。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久(沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月5日

活性化計画名	笠張第2地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 南大東村	470007 473570	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成27年度
活性化計画の区域				
区域 笠張第2地区(沖縄県南大東村)				
区域面積 : 33.5 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設機能の確保	8.4 ha	8.4 ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	貯水池	一式		南大東村
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
南大東村	平成24年度	平成27年度	平成28年4月	
事業の効果				
本地区は島の南側に位置しているため、中央部にある農業用水源(自然池)からの距離があり、営農に必要な農業用水の確保に多大な労力を要してきた。貯水池施設の整備は、これら農業用水の確保に要する経費の節減が図られるだけでなく、安定的な農業用水の確保による基幹作物のサトウキビの増産と併せて収益性の高い作物であるカボチャ等を組み合わせた複合経営の推進による、農家所得の向上と農業経営の安定に寄与するものと考えられる。				

3 総合評価

貯水池施設の整備により本地区の農業用水の確保が実現された。これにより、営農作業効率が大幅に向上し営農環境が改善され農業者の営農意欲の増進が図られた。これにより農業所得の向上と農業経営の安定が図られるものと期待され、ひいては農業従事者の確保、若者の定住化の促進に繋がるものと考えられる。
--

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 地区内に水源が確保され、かん水労力の軽減が図られている。さとうきびやカボチャの安定的な栽培や生産量の増大につながることを期待される。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月31日作成

活性化計画名	横嶺地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 宮古島市	470007 472140	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: 横嶺地区(沖縄県宮古島市字伊良部)				
区域面積: 16.7 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	16.7ha	16.7ha	100%	

(コメント)
該当なし

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 16.7ha			宮古島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
宮古島市	平成24年度	平成29年度	平成29年8月	
事業の効果				
本地区は耕土深が浅く区画も不整形で、さらに地区内に道路がなく袋地状態で、植付け及び収穫等に支障をきたしていた。しかし、区画整理及び道路整備、排水施設の整備を実施することで生産性の向上と農業経営の安定化が期待できる。				

3 総合評価

区画整理を行ったことで、生産性の高い農地が確保ができた。これにより、農業機械の作業効率が向上し、営農環境が改善され、農業者の営農意欲増進が図られた。また、生産性が向上することで農業所得の向上、農業従事者の確保、若者の定住化の促進が期待され、宮古島市の活性化につながるものとする。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。
区画整理により農地の集約化と農業環境の改善が図られている。農業機械の導入促進や作業効率の向上が期待される。また、一部では後継者も育ってきており地域の活性化につながる事が考えられる。

沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会
委員 中村 真也 (琉球大学教授)
委員 大島 順子 (琉球大学准教授)
委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年8月15日作成

活性化計画名	スナ地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 宮古島市	470007 472140	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度(繰)
活性化計画の区域				
区 域: スナ地区(沖縄県宮古島市)				
区域面積: 82.0 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	16.2ha	16.2ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 16.2ha			宮古島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
宮古島市	平成24年度	平成29年度	平成29年6月	
事業の効果				
本地区は耕土深が浅く区画も不整形で、さらに地区内に道路がなく袋地状態で、植付け及び収穫等に支障をきたしていた。しかし、区画整理及び道路整備、排水施設の整備を実施することで生産性の向上と農業経営の安定化が期待できる。				

3 総合評価

区画整理を行ったことで、生産性の高い農地が確保ができた。これにより、近年大型化、合理化による農業機械の作業効率が向上し、営農環境が改善され、農業者の営農意欲増進が図られた。また、生産性が向上することで農業所得の向上、農業従事者の定住化の促進が期待され、宮古島市の農業活性化につながるものとする。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 区画整理により、排水不良の改善や法面保護による土砂流出防止が図られ、農業生産性が向上している。今後、畑地かんがい施設の導入が予定されており、農業環境のさらなる向上に不可欠な事業として評価できる。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也(琉球大学教授) 委員 大島 順子(琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久(沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月1日作成

活性化計画名	水浜地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県 多良間村	470007 473758	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度～ 平成28年度
活性化計画の区域				
区 域: 水浜地区(沖縄県多良間村)				
区域面積: 13.1 h a				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業 用排水施設等の機能の 確保	8.5ha	8.5ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
区画整理	区画整理 8.5ha		多良間村
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
多良間村	平成24年度	平成28年度	平成29年3月
事業の効果			
本地区は耕土深が浅く区画も不整形で、さらに地区内に道路がなく袋地状態で、植付け及び収穫等に支障をきたしていた。しかし、区画整理及び道路整備、防風施設の整備を実施することで生産性の向上と農業経営の安定化が期待できる。			

3 総合評価

区画整理を行ったことで、生産性の高い農地が確保ができた。これにより、農業機械の作業効率が向上し、営農環境が改善され、農業者の営農意欲増進が図られた。
--

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 台風が頻繁に襲来する本地区において、区画整理と併せて防風林の整備を行っている。農地の整形・集約化による農業機械の作業効率向上及び耕土深の確保による生産量増が期待される。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久(沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成 29年 9月 1日作成

活性化計画名	山田地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県	470007	1	平成24年度～	平成24年度～
石垣市	472077		平成28年度	平成27年度
活性化計画の区域				
区 域: 山田地区(沖縄県石垣市)				
区域面積: 19.4 h a				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	19.4ha	19.4ha	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
基盤整備 (農業用排水施設)	畑地かんがい施設(受益面積) 19.4ha		石垣島土地改良区
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
石垣島土地改良区	平成24年度	平成27年度	平成28年3月
事業の効果			
本地区は、石垣島中央部底原ダム直下に位置する稲作区域である。本地区水田への用水は、畑かん用水と同水路で送水されているため、電気料金が割高となり維持管理費増嵩の一因となっている。よって、本事業により畑かん用水より分離し維持管理費の低減及び用水の安定供給が期待できる。			

3 総合評価

本事業により水田用水を底原ダム直接掛かりとしたことで、電気料金の低減及び用水の安定供給を図ることができた。また、生産性が向上することで農業所得の向上、農業従事者の確保、若者の定住化の促進が期待され、活性化につながるものと考えられる。
--

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 畑地かんがい施設の再整備により電気料金が低減し、収益性の向上や農業経営の安定化につながっている。また、若者の新規の農業参入がみられ、地域の活性化にも期待が持てる。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月1日 作成

活性化計画名	大称原地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県	470007	1	平成24年度～	平成24年度～
石垣市	472077	2	平成28年度	平成28年度(繰)
活性化計画の区域				
区域 大称原地区(沖縄県石垣市)				
区域面積 : 10.5 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	7.0	7.0	100%	
(コメント) 該当なし				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	畑かん施設 7.0 ha		石垣島 土地改良区
区画整理	区画整理 5.5 ha		
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
石垣島土地改良区	平成24年度	平成29年度	平成29年11月
事業の効果			
本地区は、国営名蔵川地区の農業用水を活用したパイン、サトウキビを中心とした地区であるが、ほ場が不整形で狭小であり、又、かんがい施設の整備が行われていない為、干ばつ被害や計画的な営農に支障を来していた。本事業を導入し、畑地かんがい整備とほ場整備を行ったことにより、維持管理及び農作業の負担軽減や農地の生産性の向上が図られた。			

3 総合評価

ほ場整備を行い、作業労力の軽減、安定した農業用水供給が可能となり、農作物の品質向上及び安定的な収量確保が期待できる。整備により営農環境の改善が図られ、生産者の営農意欲の向上とともに農業所得が増加する。それにより、地域活性化や若者(後継者)の定住促進につながる事が期待される。

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、労働生産性の高いほ場の構築と農業用水の安定的供給が図られている。農作業の省力化や農家の収益性向上が期待される。本事業については、受益者数を鑑み、事業実施地域の選定について説明を求め、適切な回答を得た。
沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)

(参考様式6)

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月1日作成

活性化計画名	うるま2-2期地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	事業期間
沖縄県	470007	1	平成26年度～ 平成28年度	平成26年度～ 平成28年度
うるま市	472131			
活性化計画の区域				
区域 うるま2-2期地区 (沖縄県うるま市)				
区域面積 : 38.2 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	6.0 ha	6.0 ha	100%	
(コメント) 該当なし。				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	畑地かんがい施設 6.0ha			うるま市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
うるま市与勝地下ダム土地改良区	平成26年度	平成28年度	平成29年4月	
事業の効果				
当地域は、地形や地質的な条件から、地表水および地下水が利用しにくい状況であるため、農業用水の確保には困難かつ多大な労力を要し、また恒常的な干ばつ被害を受けていた。県営かんがい排水事業(与勝地区・与勝第2地区)の整備と併せて本事業を導入したことで、かん水労力の軽減と安定的な農業用水の供給により、農産物の生産性の向上と野菜(オクラ・パパイア)や果樹(マンゴー)などの高収益作物への転換が図られている。				

3 総合評価

畑地かんがい施設が整備されたことで、安定的な農業用水を供給することができ、品質の良い農作物の栽培、増収および高収益作物への転換が期待される。さらには、与勝朝市を通じて、給食センターや地元ホテル等へ業務用食材として販売促進に取り組んでいることから計画的な農業生産を行うことができ、農業経営の安定・所得の向上につながるものと考えられる。
--

4 第三者の意見

目標を達成しており、事業の評価も適切である。 畑地かんがい施設の整備により農業用水の安定的供給とかん水作業の効率化が図られ、栽培環境が向上したことから、高収益作物の導入が進み農家の収益性向上に期待が持てる。一方、サトウキビから高収益作物への転換については、地元JA等との調整を十分に行うことが望まれる。 <p style="text-align: right;">沖縄県農業農村整備事業事後評価第三者委員会 委員 中村 真也 (琉球大学教授) 委員 大島 順子 (琉球大学准教授) 委員 渡真利 克久 (沖縄振興開発金融公庫)</p>
